

第63回 島根県小学校長会教育研究大会飯石大会

第二次案内【誌上発表版】

- 1 大会主題 **「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る
日本人の育成を目指す小学校教育の推進」**
～ふるさとを学びの原点に 主体的・協動的に学び合い
豊かな未来社会を創る子どもの育成～

2 趣 旨

人工知能（AI）をはじめとする技術革新や情報化、グローバル化の進展により、幅広い知識や情報が簡単に入手できるようになり、価値観やライフスタイルが多様化してきた。多様化の時代は、主体的に自らの人生を切り拓いていく人々が増え、豊かな未来社会の実現を期待させる時代とも言える。一方で、少子高齢化、人間関係の希薄化、家庭の教育力の低下などの問題に加え、大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症など、これまで人間が経験しなかった地球規模の問題がいつどのように生じするか分からない状況に立ち向かわなければならぬ時代とも言える。予測困難な問題が出現するこの時代を、子どもたちが心豊かに健やかに生き抜いていくためには、様々な問題に主体的に挑戦し他者と協働して知恵を出し合い、問題を解決したり新しいものを創造したりする力を育てることが重要である。

島根では、ふるさと島根の豊かな教育資源（ひと・もの・こと）を直接経験することを通して、子どもたちが家族や地域の人々の愛情に触れ、ふるさとへの愛着や誇りとともに自己肯定感を育む教育を推進してきた。予測困難な時代だからこそ、ふるさとの学びを原点として、自分のしたいこと、すべきことを発見し、地域社会や日本の将来、世界の未来にはばたく心豊かな人を育成することが求められている。

本大会を開催する飯石郡飯南町は島根県中南部にあり、中国山地に囲まれ豊かな自然に育まれた高原の町である。また、古くは出雲、石見、備後の三国にまたがる交通の要所で、石見銀山街道が走っていた歴史の町でもある。保小中高一貫教育やキャリア教育を教育の重要な柱と位置づけ、ふるさと飯南を教材に、地域との関わりを大切にした連続性・系統性のある取組を実践している。人づくりの視点で人口減少対策をとらえ、「小さな田舎からの『生命地域』宣言」を基本理念に、定住対策や魅力ある教育、子育て環境の充実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、本大会をこれからの学校教育、学校経営のあり方を追究し、リーダーとしての校長の資質と力量を高めていく研修の機会としたい。そして、様々な他者と協働しながら粘り強く課題に向かい、豊かな未来社会を創る子どもの育成を目指した学校経営の充実を図りたい。

- 3 主 催 島根県小学校長会

- 4 主 管 飯石郡小学校長会

- 5 後 援 島根県教育委員会 島根県市町村教育委員会連合会 島根県教育研究会
飯南町 飯南町教育委員会

6 提案発表

- 第1分科会【リーダー育成】 発表：出雲市
主題「校長会の組織を生かして進める若手教員を育成するミドルリーダーの育成」
～校内での取組と研修会を通して～
発表者 飯塚 積 （出雲市立出東小学校）
司会者 日野 久美 （出雲市立荘原小学校）
記録者 中井 浩二 （出雲市立高松小学校）

- 第2分科会【社会形成能力】 発表：江津市
主題「ふるさとと自分の未来を創るキャリア教育の推進」
発表者 佐藤 淳 （江津市立郷田小学校）
司会者 山崎 智則 （江津市立高角小学校）
記録者 南口 周哉 （江津市立桜江小学校）

- 第3分科会【知性・創造性】 発表：大田市
主題「学び合い つながり合い 創り上げる子どもの育成」
～地域から学び、地域へ学びを返す学校づくりを通して～
発表者 高橋 雄司 （大田市立温泉津小学校）
司会者 舟木 志郎 （大田市立仁摩小学校）
記録者 原 義昭 （大田市立志学小学校）

- 7 その他 ○各分科会の提案発表を掲載した大会要項を全会員に配付します。（各市郡理事宛に送付）

【問い合わせ先】

飯南町立来島小学校

山 碕 延 男

TEL 0854-76-2342 FAX 0854-76-3332

Mail yamasaki-nobuo@ed.iinan.jp